

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市民プラザ	評価対象年度	令和3年度
事業者名	川崎みらい創造グループ 代表者 株式会社コングレ 代表取締役社長 武内 紀子 東京都中央区日本橋3丁目10番5号 構成員 コナミススポーツ株式会社 代表取締役社長 有坂 順一 東京都品川区東品川4丁目10番1号 構成員 株式会社東急コミュニティー 代表取締役 雑賀 克英 東京都世田谷区用賀4丁目10番1号	評価者	市民文化局市民生活部企画課長
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	所管課	市民文化局市民生活部企画課

2. 事業実績

○前年と同様の取組 ●新規または前年から変更した取組・事項

利用実績	<p>【総利用人数】 119,047人 [令和2年度：93,173人 令和元年度：397,478人]          &lt;内訳&gt; ・文化施設 45,412人 [令和2年度：30,456人 令和元年度：114,083人]          (ふるさと劇場、屋内広場、会議室、練習室、茶室、ギャラリー)          ・体育施設 69,601人 [令和2年度：58,615人 令和元年度：166,165人]          (プール、体育館、トレーニング室)          ・ふれあい施設 216人 [令和2年度：292人 令和元年度：104,919人]          (お風呂、大広間、囲碁将棋室、プレイルーム)          ・その他施設 3,818人 [令和2年度：3,810人 令和元年度：12,311人]          (ふるさとコーナー、特別和室)</p> <p>【健康増進事業】          年間教室 6教室 4,821人 [令和2年度：6教室 3,942人 令和元年度：5教室 9,431人]          短期教室 19教室 1,951人 [令和2年度：19教室 1,377人 令和元年度：20教室 4,477人]</p> <p>【文化・教養事業】          年間講座 23講座28教室 2,949人 [令和2年度：24講座30教室 2,469人 令和元年度：24講座29教室 4,350人]          短期講座 7講座24教室 237人 [令和2年度：6講座25教室 151人 令和元年度：8講座34教室 347人]</p> <p>【市民相互の交流行事等事業】          主催・共催・自主事業 31事業 6,639人 [令和2年度：19事業 3,018人 令和元年度：46事業 29,150人]</p> <p>【貸館施設利用率等】          総利用率 19.7% [令和2年度：13.6% 令和元年度：34.3%]          &lt;主要施設&gt; ・ふるさと劇場 33.5% [令和2年度：23.8% 令和元年度：36.2%]          ・会議室 22.2% [令和2年度：14.6% 令和元年度：27.5%]          ・練習室 59.2% [令和2年度：47.2% 令和元年度：56.9%]          ・茶室 22.2% [令和2年度：16.5% 令和元年度：27.9%]          ・ギャラリー 76.8% [令和2年度：51.8% 令和元年度：74.3%]</p>
収支実績	<p>(1) 収入 401,147,085円 [令和2年度：390,292,343円]          内訳： 指定管理料 292,874,000円 [令和2年度：281,215,000円]          利用料金 30,823,300円 [令和2年度：24,994,400円]          健康増進事業 33,120,650円 [令和2年度：30,749,577円]          文化・教養事業 15,553,340円 [令和2年度：12,859,639円]          市民交流事業 3,013,770円 [令和2年度：263,250円]          レストラン事業収入 5,616,130円 [令和2年度：4,500,051円]          新型コロナウイルス補償額 15,185,977円 [令和2年度：33,356,659円]          その他 4,959,918円 [令和2年度：2,353,767円]</p> <p>(2) 支出 400,237,752円 [令和2年度：388,160,030円]          内訳： 人件費 143,931,778円 [令和2年度：149,408,911円]          管理費 188,835,077円 [令和2年度：164,914,567円]          健康増進事業 30,057,486円 [令和2年度：43,742,394円]          文化・教養事業 10,479,605円 [令和2年度：6,158,642円]          市民交流事業 2,466,524円 [令和2年度：936,057円]          レストラン事業 3,286,737円 [令和2年度：2,372,455円]          その他 21,180,545円 [令和2年度：20,627,004円]</p> <p>(3) 収支差額 909,333円 [令和2年度：2,132,313円]</p>
サービス向上の取組	<p>【施設の管理運営事業】          ●施設入口に案内看板を新規設置するとともに、貸室情報や教室・講座の紹介、イベント告知など広報活動にも活用し、利用者の知りたい情報をより伝えやすくするためのデジタルサイネージを設置した。          ●多様な研修・会議スタイルに対応するため、セミナールームのリニューアルを行うとともに、屋内テラスにおいても、多様な利用目的に合わせた空間にリニューアルを行った。          ●屋内広場にある植栽について、カイガラムシが繁殖し、見た目も芳しくない状態であったが、カイガラムシに感染している植栽の剪定・除草を実施し、新たな植栽を植え込み改善を図った。</p> <p>【健康増進事業】          ●コナミス独自のコアエクササイズである「コアクロス」について、クラスの増設を行った。          ●キッズインギングスクールでは、他の公共施設で測定したタイムと競い合う「タイムチャレンジインギング記録会」を開催し、スクール参加者のモチベーションアップを図った。</p> <p>【文化・教養事業】          ●新たな短期講座として「弾いてたのしいウクレレ講座」を開設した。          ●川崎市民プラザの公式Twitterを令和4年3月に開設し、イベント等の情報発信を行った。          ○1年間の集大成となる「趣味の教室発表会」を実施し、1,940人が来場した(令和2年度 1,253人)。</p> <p>【市民相互の交流事業】          ●質の高い音楽を手頃に聴けるコンサートとして、「プラザ・アフタヌーンジャズ」を新たに開催し、年5回のシリーズコンサートを実施した。          ●イベントのダイジェスト動画やワークショップで作成した作品を紹介する動画などをコロナ禍で参加できなかった方々でも楽しんでもらえるようYouTubeで配信した。</p>

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3	3.6
		利用者満足度は高い水準となっているか			
調査結果の分析を行い、高い満足度を獲得するための具体的な取組に反映しているか					
利用者満足度	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
利用者満足度	<p>(評価の理由)</p> <p><b>【利用者満足度】</b></p> <p>●窓口や御意見箱、メールでの問い合わせのほか、各種アンケートの実施により、利用者の満足度やニーズ、意見・要望などの把握に努めた。その結果、講座受講の際に使用する受講証の改善や屋内広場でのルールについて、イラストを利用した注意喚起の掲示物の作成、除草や樹木の剪定などを実施した。</p> <p>○利用者アンケートでは、文化・教養事業(年間・短期講座)で「たいへん満足」「まあまあ満足」の合計が98.1%(令和2年度:94.9%)、体育事業(プール・体育館でのプログラム(教室)内容)で「大変満足」「満足」の合計が74.0%(令和2年度:68.0%)、市民相互の交流行事等事業で「大変満足(とても楽しかった)」「満足(楽しかった)」と回答した割合は86.3%(令和2年度:88.2%)と、市民相互の交流行事等事業については、前年度よりやや減少したものの、他の2つについては、いずれも前年度より増加しており、文化・教養事業においては、高い満足率を維持している。</p> <p>また、施設利用について「非常に満足」「まあまあ満足」の合計が93.4%(令和2年度:89.6%)、スタッフの対応について「非常に満足」「まあまあ満足」の合計が97.1%(令和2年度:94.8%)と、前年度よりも増加し、継続して高い水準となっている。</p> <p><b>【事業成果】</b></p> <p>○事業計画に基づき、文化・教養講座、健康増進講座、各種イベント等を実施した結果、利用人数については、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限、長寿命化工事の実施に伴う3か月の長期休館などの影響もあったが、年間の総利用者としては、119,047人と、前年度と比較して25,874人の利用者増となった(令和2年度:93,173人)。また、利用者・参加者に協力いただきながら安全・安心を第一に感染症対策を実施し、新規教室の開講や情報サイト・新聞等への掲載を増やし、公式TwitterやYouTubeを活用するなど、新たな利用者獲得に向け、積極的に情報提供等を行ったほか、長期休館後の運営再開に向け、既存の利用者に対し、休館明けのスケジュールをお知らせするなどの対応も行った。</p>				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3.0
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	4	3	2.4	
収支計画・実績	<p>(評価の理由)</p> <p><b>【効率的・効果的な支出】</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒し、浴室の休止などにより、光熱水費がかからなかった一方で、施設の老朽化による設備故障が発生し、それに伴う急激な光熱水費の上昇が発生したが、これ以上の光熱水費の上昇を防ぐため、機器の調整などを実施した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症により収入が減少する中、長寿命化工事による長期休館後の営業再開に向けた準備や施設の安定稼働に努めるため、備品費や老朽化に対応する修繕費について、しっかりと費用をかけて実施した。</p> <p><b>【収入の確保】</b></p> <p>○利用料金収入全体としては、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限の影響などもあり、予算額に達することはできなかったが、様々な感染症対策を講じながら文化・教養講座、健康増進講座、各種イベント等を実施し、収入確保に努めた。</p> <p>○駐車場について、利用が少ない東門駐車場を引き続き、橋処理センターの建設工事作業車両の駐車スペースとして貸し出すことなどにより、予算額に対して180万円以上の増額となった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限などに伴う補償金について、市と協議し、受領した。</p> <p>●長寿命化工事の実施に伴う3か月間の長期休館に対する補償費用について、指定管理料として受領した。</p>				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
サービス向上及び業務改善	適切な事業の実施 (施設の管理運営事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (健康増進事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	3	4.8
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (文化・教養事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	3	4.8
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (市民相互の交流行事等事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際の事業実施内容に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	3	3.6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4	4.8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由)					
【施設の管理運営事業】 ○イベント等の情報について、情報サイト・新聞等への掲載を増やし、公式TwitterやYouTubeを活用するなど積極的な情報提供に努めた。 ●施設入口に案内看板を新規設置するとともに、貸室情報や教室・講座の紹介、イベント告知など広報活動にも活用し、利用者の知りたい情報をより伝えやすくするためのデジタルサイネージを設置した。 ●多様な研修・会議スタイルに対応するため、セミナールームのリニューアルを行うとともに、屋内テラスにおいても、多様な利用目的に合わせた空間にリニューアルを行った。 ○HPの閲覧数275,831回(令和2年度:224,713回)、ユーザー数183,461人(令和2年度:143,245人)、となっており、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限、長寿命化工事の実施に伴う3か月の長期休館などの影響もあったが、HP閲覧数、ユーザー数ともに、前年度よりも増加している。					
【健康増進事業】 ○健康増進事業全体としては、年間教室 6教室 4,821人(令和2年度 6教室 3,942人)、短期教室 19教室 1,951人(令和2年度 19教室 1,377人)と、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限、長寿命化工事の実施に伴う3か月の長期休館などの影響もあったが、前年度に対して増加した。 ●コナミスポーツ独自のコアエクササイズである「コアクロス」について、令和4年1月からより多くの利用者に提供ができるようクラスの増設を行った。 ●キッズスイミングスクールでは、他の公共施設で測定したタイムと競い合う「タイムチャレンジスイミング記録会」を開催し、スクール参加者のモチベーションアップを図った。					
【文化・教養事業】 ○文化・教養事業全体としては、年間講座 23講座28教室 2,949人(令和2年度 24講座30教室 2,469人)、短期講座 7講座24教室 237人(令和2年度 6講座25教室 151人)と、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限、長寿命化工事の実施に伴う3か月の長期休館などの影響もあったが、前年度に対して増加した。 ●新たな短期講座として「弾いてたのしいウクレレ講座」を開設した。 ●川崎市民プラザの公式Twitterを令和4年3月に開設し、イベント等の情報発信を行った。 ○1年間の集大成となる「趣味の教室発表会」を実施し、1,940人が来場した(令和2年度 1,253人)。 ○会議室の利用件数は、2,133件となっており、令和2年度の1,555件と比べると578件の増加となった。					
【市民相互の交流行事等事業】 ○市民相互の交流行事等事業全体としては、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限、長寿命化工事の実施に伴う3か月の長期休館などの影響もあったが、新規イベントを実施するなど、主催・共催・自主事業 31事業 6,639人となり、令和2年度の19事業 3,018人に対して大幅な増加となった。 ●川崎市の「美味しい」と「楽しい」をテーマとした市民プラザ・マルシェを新たに開催し、地域のお祭りの中止が相次ぐ中、川崎市の魅力を再発見するとともに、交流の場となった。 ●質の高い音楽を手頃に聴けるコンサートとして、「プラザ・アフタヌーンジャズ」を新たに開催し、年5回のシリーズコンサートを実施した。 ●イベントのダイジェスト動画やワークショップで作成した作品を紹介する動画など、7件のコンテンツをコロナ禍で参加できなかった方々でも楽しんでもらえるようYouTubeで配信した。					
【利用者の意見・要望への対応】 ●利用者や近隣住民からの意見・要望への対応として、講座受講の際に使用する受講証の改善や屋内広場でのルールについて、イラストを利用した注意喚起の掲示物の作成、除草や樹木の剪定などを実施した。 ○意見・要望等に対しては、各セクションの担当者と情報を共有し、改善に努めた。 ●前年度のアンケート結果を踏まえ、子どもから大人まで親子で楽しめる落語イベント「春休み企画！親子のためのプラザde子ども寄席」を新たに開催した。					

分類		着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適性な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	6	4	4.8
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3	2.4
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p><b>【担当者のスキルアップ】</b></p> <p>●川崎みらい創造グループ従業員ほぼ全員を対象に、多様な方々と一人一人向き合い、適切な理解のもと声かけやコミュニケーションを行うためのマインドとアクションを身につけ、公平・平等な施設利用を提供するため、「ユニバーサルマナー検定」を受講した。</p> <p><b>【安全・安心への取組】</b></p> <p>●接客業務を行う従業員を対象に、利用者が大きく体調を崩すことや心肺停止状態などの非常事態に対し、落ち着いて正確な対応ができるよう「普通救命講習Ⅰ」を受講した。</p> <p>○自衛消防訓練について、年2回実施したが、新型コロナウイルス感染症対策として、多人数の密集を回避する目的で同様の内容を1日に複数回に分けて実施するなど、大人数での密集を回避した形で実施した。</p> <p>○スポーツ事業に関わるスタッフについて、入社時にはCPR(心肺蘇生法)・AED訓練を行うこととしている。また、有事に備えた有事ハンドブックを作成している。</p> <p>○プール、トレーニングルーム、フロント、事務所のスタッフについて、常にトランシーバーを携帯し、万が一の事故・有事に備える体制を整備している。</p> <p>○防災マニュアルや警備に関わる利用者対応マニュアル等を随時、修正や見直しを行い、警備員、設備員に周知を図った。</p> <p><b>【コンプライアンス】</b></p> <p>○受付業務を担当する株式会社コングレにおいて、個人情報保護、ISO27001研修をeラーニングで実施するとともに、コナミスポーツ株式会社及び株式会社東急コミュニティーにおいてもコンプライアンス研修を実施している。</p>				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	4	4	3.2
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	4	4	3.2
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	駐車場管理業務	駐車場を安全・快適・適正に管理・運用できているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p><b>【施設・設備の保守管理】</b></p> <p>○築40年以上が経過しているため、設備の老朽化が進行しており、プール安定器室排気ファン更新工事やプールピット内配管補修工事など、令和3年度も多くの工事や緊急対応の事案があったが、その際には利用状況を把握した上で改修作業のタイミングなどを調整し、影響を最小限に抑えるよう対応した。</p> <p>●施設2階にある配膳室の給湯配管接続部分が破断し、大量の湯が噴出する事態となったが、市への連絡及び現場での素早い対応により、一時臨時休館とはなかったが、大きな混乱は無く翌日の営業にほぼ支障はなかった。</p> <p><b>【清掃業務】</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策として、通常の清掃業務に加え、人が触れるか所を中心に拭き取り消毒を実施した。来館者が多くなる土日祝日においては清掃員を増員し、実施した。</p> <p><b>【駐車場管理業務】</b></p> <p>○駐車場の利用方法について、利用者への周知が足りていないため、1団体ごと貸館利用者へ利用方法について、周知を図った。また、利用が少ない東門駐車場を引き続き、橋処理センターの建設工事作業車両の駐車スペースとして貸し出すことや満車となる日を予測し、警備員を増員して対応するなど、適切な管理を行った。</p> <p><b>【外構・植栽管理】</b></p> <p>●屋内広場にある植栽について、カイガラムシが繁殖し、見た目も芳しくない状態であるため、定期的に剪定と害虫駆除を実施していたが、利用者の中では抜本的な対策を行えていなかった。今回、長寿命化工事に伴う長期休館を利用し、カイガラムシに感染している植栽の剪定・除草を実施し、新たな植栽を植え込み改善を図った。</p> <p>○平置き駐車場にある植栽の枝葉が車の通行域を狭め、車同士のすれ違いや歩行者の通行に支障をきたしていたため、強剪定を行った。</p>				

#### 4. 総合評価

評価点合計	68.0	評価ランク	C
-------	------	-------	---

注) 評価点：100点満点。評価ランク：5段階評価

A：80点以上 B：70点以上80点未満 C：60点以上70点未満 D：50点以上60点未満 E：50点未満

A：特に優れている B：優れている C：適正である D：改善が必要である E：問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市民プラザは、昭和54年の開設以来33年間にわたり、財団法人川崎市指定都市記念事業公社が所有してきたものを、公社解散に伴い市が寄贈を受け、平成24年度から指定管理者制度を導入し10年目となる。

令和3年度の総利用者数119,047人は、新型コロナウイルス感染症対策による閉館時間の前倒しや利用人数制限、長寿命化工事の実施に伴う3か月の長期休館などの影響もあったが、前年度と比較して25,874人の利用者増となった。また、利用者・参加者に協力いただきながら安全・安心を第一に感染症対策を実施し、新規教室の開講や情報サイト・新聞等への掲載を増やし、公式TwitterやYouTubeを活用するなど、新たな利用者獲得に向け、積極的に情報提供等を行ったほか、長期休館後の運営再開に向け、既存の利用者に対し、休館明けのスケジュールをお知らせするなどの対応も行う等、順調に管理運営を行ったことなどからも、評価することができる。今後もより一層、幅広い利用者の獲得に向けた様々な対応を期待したい。

また、管理運営については、施設自体は開館から40年以上が経過しており、年間を通じて各所で不具合等が発生する状況にあるが、不具合が生じた際には、迅速な対応かつ適切なメンテナンス等を実施するなど、円滑かつ適切な施設管理運営を行った。

本施設は市民相互の交流の場であり、かつ施設周辺の市民が多く利用する施設であることから、令和3年度も中止となってしまったが、長年継続している地元の祭りや盆踊り大会、多くの市民が利用している健康増進教室や趣味の講座については、新たな講座を開設しつつ、社会変容を的確にとらえた新しい取組を積極的に展開し、幅広い利用者の獲得に向けた取り組みを進めていくことにより、今後もより一層、地域に浸透し、親しまれる存在となるような事業の推進・拡充が求められる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・事業実施に当たっては、事業計画に基づき着実に実施するとともに、計画の見直しが必要な場合については、適宜、市と協議の上、実施すること。

・新規利用者増加に向け、幅広い利用者層に対するアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握することで、新規利用者の開拓・獲得につながるよう、利用しやすい環境づくり及び魅力のある教室・講座内容とするよう努め、併せて効果的な周知・PR活動も行うこと。

・オンラインで実施した事業について、利用人数に含めるよう、人数の取り方を含めて引き続き検討すること。

・地域における魅力ある施設となるため、市民が積極的にイベント等に参加できるような支援の実施や新たな事業者等との連携など、引き続き地域や事業者等との連携を図ること。

・設備機器のメンテナンスや備品管理などの施設の維持管理業務や施設敷地内の植栽管理業務について、築40年以上が経過しているため、突発的な故障等が発生しているが、継続して適切かつ安全に配慮して対応すること。

・イベント開催時等において、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮した交通手段による来館の促進策を検討すること。

・引き続き新型コロナウイルス感染症対策を十分に行うこと。

・新たな社会変容に対応した管理運営を行うため、WiFi設備などの環境づくりやYouTubeのオンライン配信などを活用すること。

・施設の現状や課題を踏まえ定めた今後の取組について、着実に実施すること。